

# 広報たかなべ

2012. 7. 20 NO. 377



- ・防災特集「逃げるっ！」
- ・第59回 高鍋町消防操法大会
- ・口蹄疫を忘れない
- ・ご存知ですか？  
情報公開制度・個人情報保護制度
- ・パブリックコメント制度報告
- ・新規採用職員を紹介します！
- ・「近畿高鍋会」設立！
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

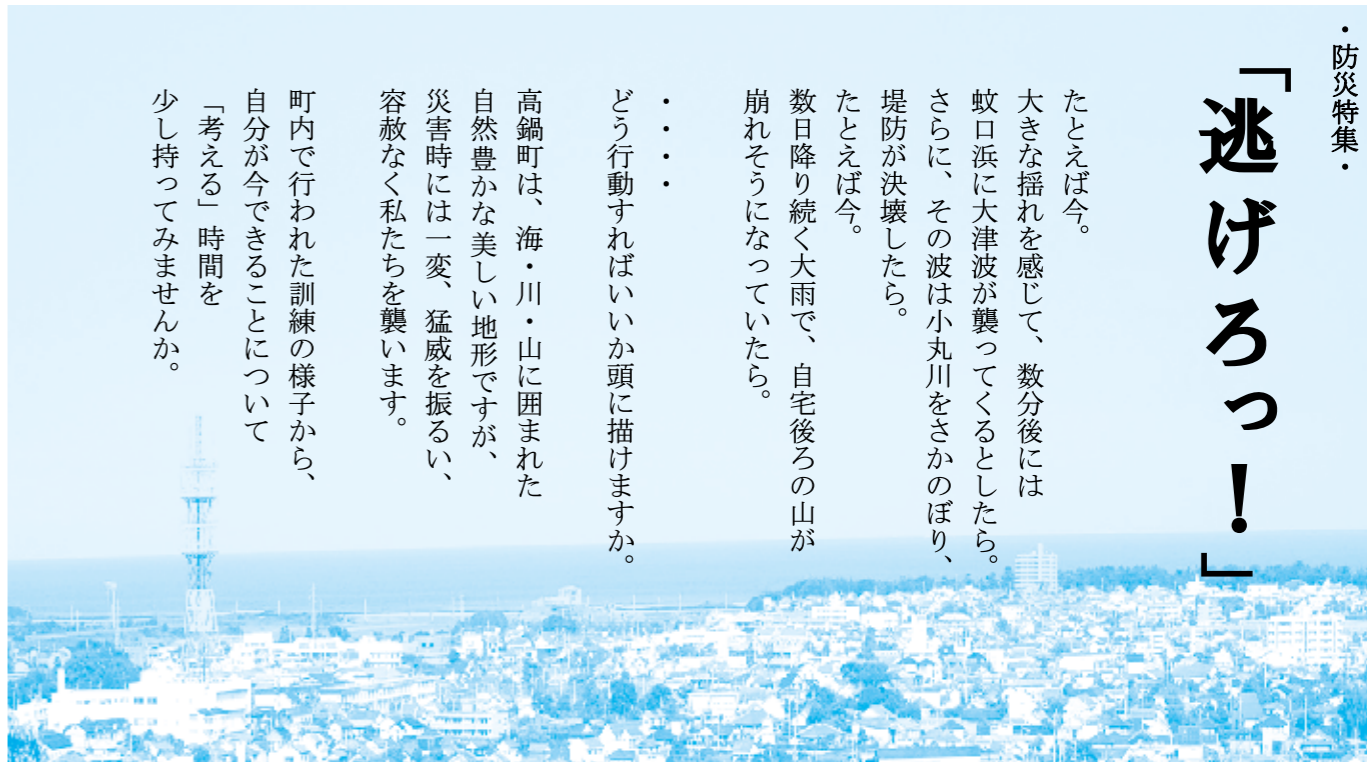
## 緑のトンネルを抜けると・・・

動物や植物の楽園が広がっていました。いろいろな表情を見せてくれる高鍋湿原。小さくても一生懸命生きている生き物たちをそ〜っとのぞきに行ってみませんか。長い梅雨が明け、元気いっぱいの夏を迎えます！

# 「逃げろっ！」

たとえば今。  
大きな揺れを感じて、数分後には蚊口浜に大津波が襲ってくるとしたら。さらに、その波は小丸川をさかのぼり、堤防が決壊したら。たとえば今。  
数日降り続く大雨で、自宅後ろの山が崩れそうになっていたら。

どう行動すればいいか頭に描けますか。  
高鍋町は、海・川・山に囲まれた自然豊かな美しい地形ですが、災害時には一変、猛威を振るい、容赦なく私たちを襲います。  
町内で行われた訓練の様子から、自分が今できることについて「考える」時間を少し持つてみませんか。



災害を恐れるだけではなく、まずは日ごろから災害に関する情報にアンテナを張ってください。正しい知識を得ることが自分の身を守ることへの第一歩です。そして地域に目を向けて、自分が住んでいる場所や周辺の危険箇所を知っておくことが、被害を軽減することにつながります。  
高鍋町では、出前講座で防災についての講座も開催しています。各団体からの依頼で、担当者が講師となり、無料で講座を開催していますので、ご活用ください。

## ◆災害時をイメージし、備える

家床地区での避難訓練のあと、降り続いた大雨の影響で、実際に町内でも土砂崩れが発生しました。幸い、けが人はありませんでしたが、災害はいつ、どこで起きるか分

かりません。家族がそろっているときに起きるとも限りません。そのため、子供たちも保育園や学校で繰り返し訓練を行っています。東小学校で行われた避難訓練時には、子供たちに「危ないところを考えながら帰ってください」との指導がありました。  
子供たちに限らず、災害時に自分の身の回りで起こりうるリスクをイメージする力とその対応力を身につけることは非常に重要です。



6月24日（脇地区）  
民家の裏山が崩れる

もしものときには、高鍋町が下欄の発令を出す場合があります。これらの違いを理解し、自らの判断で早めに避難することも重要です。  
災害が起きた時、まず何よりも自分が無事であることが第一です。そのために、自分の命は自分で守る、という意識を持ち、私たち一人一人が、折に触れて災害について考え、自分の身の安全を守るために必要な対策を講じること、それが重要です。

## ◆訓練で繰り返し覚える ◆避難場所や避難経路を確認する

毎年五月の第四日曜日は「宮崎県防災の日」です。今年も、五月二十七日に県内十八市町で総合防災訓練が行われ、高鍋町では、地震による津波を想定した避難訓練が行われました。前年の参加者は三百二十名ほどでしたが、今年には二十四地区・千六百人の方が参加し、消防団等の誘導のもと、地区ごとに決められた場所に避難しました。  
三人のお孫さんを連れ参加者は「ベビーカーを押して来ましたが、途中の道がガタガタで周りの方に助けていただきました。歩ける子供はほとんど先に行くので心配しませんが、家の場所によっては防災無線が聞こえませんか」と話していました。  
また、昨年と同様、地区単位で参加した葦江公民館長の守部信秋さんは「今年は百十名ほどの参加がありました。地区の公園などを掌握してからの訓練に臨みました。スムーズにすすめることができました」と話していました。  
参加者が昨年の五倍ちかくに増え、個人での危機意識が高まってきているのを感じられる訓練となりました。



実際に体を動かしてみること、注意点や問題点が見えてくる点があります。災害時に落ち着いて行動できるように、繰り返し訓練を行い、身を持って覚えることが大切です。また、災害時に家族が合流できるように、避難場所や避難経路を日ごろから話し合い、決めておきましょう。  
防災行政無線について、高鍋町では、デジタル化などの整備に向けて今年度から動き出しています。また、避難場所が書かれた防災マップや標高マップを全戸配布していただきます。さらに、町内五十カ所に海拔表示板を設置していただきます。水害等の避難時のために、日ごろより確認しておいてください。



## ◆災害（地震・風水害など）の基礎知識を身につける ◆地域の状況を把握する

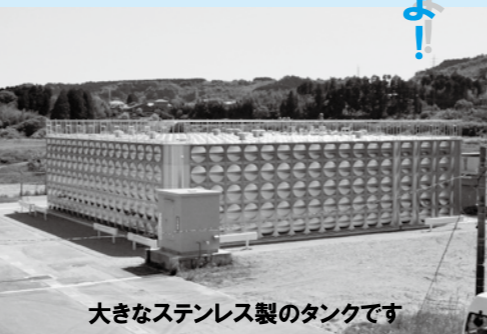
全国統一防災訓練に伴って、六月三日には家床地区で土砂災害防災訓練が行われました。同地区は県の土砂災害警戒区域に指定されており、土砂災害の危険性の高い地域です。当日は、五十七名の参加者が公民館に避難しました。その後、県砂防ボランティア協会の方から土砂災害に関しての講演を受けました。  
崖崩れや地滑りの映像を見た参加者は「映像は想像以上のものでした。災害時には、とにかく山の方へ逃げようと考えていますが、どこに逃げても怖いんです。実際、雨が降るときに、山から流れてくる水の量がすごくて、夜中に窓を開けて確認することもあきらみず」と話していました。  
家床公民館長の原和賢さんは「ここは山に囲まれた集落で、鉄砲水などの危険があります。実際に崩れている箇所もあります。防災意識を養うためにも、電話をかけたリチャージを配って訓練への参加を強く呼びかけました。意識は高まってきていると思います」と話していました。

## 避難準備・避難勧告・避難指示について

	発令時の状況	町民に求める行動	拘束力
避難準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者等、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階</li> <li>人的被害発生の可能性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要援護者等は、計画された避難場所への避難行動を開始（支援者は支援行動を開始）</li> <li>上記以外の方は避難準備を開始</li> </ul>	
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階</li> <li>人的被害発生の可能性が明らかに高まった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の避難行動ができる人は、計画された避難場所等への避難行動を開始</li> </ul>	
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>前兆現象の発生や地域の特性等から、人的被害発生危険性が非常に高いと判断された</li> <li>人的被害が発生した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難勧告等の発令により避難中の町民は、確実な避難行動を直ちに完了</li> <li>未避難の町民は、直ちに避難行動を！時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動を！</li> </ul>	

## 命の水を確保せよ！

水は人が生活を営むうえで必要不可欠です。災害時にはライフラインが寸断されることも予想され、水の確保は大変重要な課題です。  
高鍋町には今年三月、竹鳩浄水場の整備の一環で「緊急時給水拠点確保等事業」として新しい配水池が完成しました。



大きなステンレス製のタンクです

竹鳩浄水場では、通常時、水をこの配水池にためてから、ポンプ圧送方式で各家庭に送っています。災害などの非常時には、こ



緊急時給水口

給水口から、ホースで消防や自衛隊などの給水車につなぎ、水を配る

ここは必ず、これから災害拠点の一つとなっていくでしょう。しかし、一定の水量が確保できるよつになつたといえ、非常用の水を個人で準備しておくことも重要です。

# 第五十九回高鍋町消防操法大会

六月二十四日、高鍋町スポーツセンター駐車場で大高鍋町消防操法大会が行われました。この大会は、町民の生命と財産を守るために、安全・確実・迅速に消火活動が行えるよう訓練を重ね、その成果を競うものです。当日は、朝から猛烈な雨が降り、団員は濡れながらも操法となりましたが、朝夕を問わず連日訓練してきた成果を存分に発揮しました。雨で濡れた肌寒さも感じられないほどの熱い思いが伝わってくる大会でした。 ※各部門の成績は次のとおりです。

## 小型ポンプの部

### 優勝 第九部

- 指揮者 藤原 一信
- 一番員 森光 勇太
- 二番員 長谷部将一
- 三番員 坂元 駿介



### 第二位 第十部

## 小型ポンプ積載車の部

### 優勝 第七部

- 指揮者 谷川 義彰
- 一番員 古賀 直樹
- 二番員 増田 浩史
- 三番員 黒木 幸徳



### 第二位 第十二部

## ポンプ自動車の部

### 優勝 第四部

- 指揮者 古小路広幸
- 一番員 東 純一郎
- 二番員 横田 晋作
- 三番員 岩崎 青哉
- 四番員 古川 浩二



### 第二位 第三部

優勝した部は、七月二十一日に開催される東児湯支部大会に出場します。三部長とも「支部優勝を目指します！」と強く語ってくれました。



おめでとうございます

高鍋町消防団は、規律や技能に優れているとして、日本消防協会から表彰旗が贈られました。ここ数年の東児湯支部大会や県大会での好成績などが評価された形となりました。日ごろから、団員の皆さんが努力し鍛錬を積んだ賜物ですね。



消火！！



「操法はじめ！」



服装の乱れを直して...



およそ6kgのホースを抱えて全力で走ります



「終了しました！」



火点を狙って...

## 口蹄疫を忘れない

二年前のこの季節は、石灰と防護服の白色の印象があります。そして連日メディアで流されていた牛や豚の物言わぬ瞳。

日本全体の畜産業や社会情勢を揺るがし、私たちの生活にも甚大な影響を及ぼした家畜伝染病口蹄疫(こうていいんき)。宮崎県全体で二十九万頭以上の家畜が殺処分され、その中には高鍋町にある宮崎県家畜改良事業団で飼養されていたエース級の種雄牛も含まれていました。

あれから二年。当時、家畜がほとんどいなくなった状態でしたが、その後に入された母牛から産まれた子牛が出荷の適齢期を迎えました。五月十日には児湯家畜市場でせりが行われ、高鍋町からは三八頭が出荷されました。

また、終息後三年が経過する来年七月



染め岡処分場



消毒ポイント



役場庁舎入口(現在)

一日以降の埋却地について、県をはじめ関係機関により農地再生の検討が始まっています。順調に回復の道をたどっているようにも見えますが、町内において経営を再開した農家は八割です。再開の目途がたたず、耕種農家に変更を余儀なくされたり、高齢化などで廃業を選択する方もいます。これが二年目の現状です。そして、近隣諸国でも今年に入ってからも口蹄疫が相次いで発生しており、いつ日本で発生してもおかしくありません。状況でもありません。私たちにできることは、日常において消毒マットを使用するなど積極的な防疫の協力を行い、口蹄疫の痛みを知っているからこそ、その痛みを忘れないことが大切です。

## ご存知ですか？

### 情報公開制度・個人情報保護制度

【情報公開制度】高鍋町が保有する町政情報を住民が開示請求できる制度です。

平成二十三年度は七件の開示請求があり、全部開示二件、部分開示二件、不存在三件という決定でした。この決定に対する不服申し立てはありませんでした。

### 【個人情報保護制度】

高鍋町が保有する個人情報や適正な取り扱いにより保護する制度で、住民の権利として自分の個人情報の開示・訂正・目的外利用等の停止を請求することができます。平成二十三年度はいずれも請求がありませんでした。

### お問い合わせ

政策推進課 情報政策係  
TEL 26・2003

## パブリックコメント制度報告 ~町民参画のまちづくりに向けて~

パブリックコメント制度とは、町が政策等を決めるときに、その案を広く住民に公表し、皆さんから寄せられた意見等を案に取り入れることができるかどうかを検討し、その検討結果(最終案)とともに寄せられた意見等に対する町の考え方をあわせて公表していく一連の手続きをいいます。

この制度は、町としての統一したルールを確立し、行政運営の透明性の向上を図るとともに、住民の町政への参加機会の拡充を図り、「公正で開かれた町政」の実現を目指すものです。

23年度の実施結果は次のとおりです。

案件名	実施期間	担当課	結果
高鍋町農業委員会の平成22年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価及び、平成23年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)	平成23年4月1日 ～ 4月30日	農業委員会	ご意見はありませんでした
高鍋町男女共同参画プラン改訂(案)	平成23年11月18日 ～ 12月9日	政策推進課	ご意見はありませんでした
高鍋町健康づくり計画(案)	平成24年2月6日 ～ 3月6日	健康福祉課 (健康づくりセンター)	ご意見はありませんでした
第6次高鍋町老人福祉計画・第5期高鍋町介護保険事業計画(案)	平成24年3月2日 ～ 3月29日	健康福祉課	ご意見はありませんでした

※計画は、町ホームページでも閲覧できます。<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

**「近畿高鍋会」設立!**

近畿高鍋会設立準備委員 会役員の方々のご尽力と宮崎県大阪事務所や近畿宮崎県人会など関係団体のご協力により高鍋町では初めての町人会『近畿高鍋会』(会員数 百四名)が発足しました。

五月十九日(土)には、大阪市北区において、来賓・会員あわせて百二名の出席のもと設立総会が盛大に行われ、会長に都留公平さん(南高鍋出身)を選出、今後の活動方針として会員数の拡大や高鍋町への応援などが承認されました。

その後の懇親会では、久しぶりにつどった同郷の方々同士、会話も弾み、地場特産品などが当たる抽選会や催し物を楽しみながら交流を深めていました。

今後は、年一回の総会をはじめ、会員相互の親睦を図るためのさまざまな行事が行われる予定です。『近畿高鍋会』が、近畿地区と高鍋町との架け橋となるよう、さらなる発展を願っています。

町人会は、同郷出身者が



◆お問い合わせ  
政策推進課 総合政策係  
Tel 26・2018

「ふるさと高鍋町」への想いや昔の思い出などを語り合える唯一の場所であるとともに、新天地での生活に不安を抱いている方の身近な相談場所にもなるのではないのでしょうか。

入会は随時受け付けていますので、次の方がいらっしゃいましたら、ぜひ情報をお寄せ下さい。

○近畿地方(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県)に在住する高鍋町出身者(一時在住者含む)又は縁のある方

○新たに、就職や転勤、進学などで近畿地方に在住される方



紅あずま・べにはるか・安納芋が植えられました

◎秋を楽しむに!  
五月二十日、小雨の降る中、めいりん公園でジュニアリーダーと周辺農家の皆さんにより、収穫祭に向けてのさつま芋の植え付け作業が行われました。三種類の芋が植えられ、秋の収穫が今から楽しみです。

**まちの話**

高鍋温泉めいりんの湯が開業十一周年を迎え、五月三日からの三日間、花の苗無料配布や、折り紙体験教室などの各種記念イベントが行われました。折り紙教室では子供の日に前に、子どもたちが「鯉のぼり」などを作り、完成後、嬉しそうに遊んでいました。

おかげさまで11周年



今後の実りが気になるところです。また、これから四季彩のひろみ展も楽しみの

◎「むら」が楽しそう!  
昔ながらの農村風景の再現を目指す四季彩のむらで、イベントが続きまして。六月三日は稲穂の色の違いで絵を描く田んぼアートが描かれ、翌七月一日は独身男女が集まり、田植えをしながら「むら」が行われました。どちらも

◎毎日使うものだから...  
六月二十七日、高鍋町管工事業者組合九社の皆さんが、奉仕作業として町内東西小学校の水道蛇口などの修理を行いました。当日は時折、激しい雨が降り、濡れながら作業をする場面もありました。休み時間にいった子どもたちは「ありがとうございます」と元気よくお礼を言っていました。

雨に濡れながらも、黙々と作業をする管工事業者の皆さん

**高鍋海水浴場まもなくオープン!**  
【開設期間】7月21日(土)~ 8月27日(月)  
☆予定イベント  
世界の砂の造形コンクール } 8月19日(日)  
世界のダンスコンテスト  
◆お問い合わせ 高鍋町観光協会 Tel: 22-5588

第12回 高鍋城灯籠まつり開催決定!  
\*とき 10月6日(土)~7日(日)  
\*ところ 舞鶴公園周辺  
および 高鍋町商店街

**「育英会」寄付**  
野口 壽賀子 様  
ありがとうございます

**せいぼサークル ご案内**  
毎週 木曜日 10時から(子育て支援)

親子で、園庭や教室でいっしょに遊びませんか。子育てで悩んでいる方の育児相談(無料)をしております。満2歳より就学前のお子様をお預かりいたします。  
保育時間 7:30~18:00 (毎日午前中、園庭を解放しています。)  
高鍋カトリック聖母幼稚園  
場所 ジョイアス横 電話 23-1500

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

**坂 敬章 さかのりあき**  
産業振興課 農林畜産係

生産農家さんとふれあうことの多い係です。皆さんの顔を覚えて、また私の顔も覚えていただいて、気軽に話しかけていただける。そんな職員になりたいです。

趣味:読書 好きな言葉:情けは他人の為ならず

~先輩からの一言~  
入庁前にも就職の経験があるらしく、上の顔写真にピンときた町民の方もおられるのでは。写真通りの好青年です。いまだに私が彼ら新採用職員に学ぶことは「初心」です。これを忘れず研鑽を積み、超一流の町職員になることを期待します。(新名係長)

**はまわき だいき 濱脇 大樹**  
税務課 町民税係

今年から税務課に配属になりました。税に携わる機会が今まで全くなかったので、毎日新たな発見があって楽しいです。業務内容を着実に習得していき、先輩方をしっかりサポートしていきたいです。

趣味:音楽鑑賞 好きな言葉:冬

~先輩からの一言~  
3月27日で20歳になったばかりのニューフェイスです。課せられた仕事や地元の消防活動に日々奮闘中です。人の出合いを大切にしていって、いろいろな方面の研鑽に努めて柔軟に対応できる職員になってほしいです。(佐藤係長)

**立石 則子 たていしのりこ**  
健康福祉課 社会福祉係

障がい者に関する医療費助成や手帳の交付などについて担当しています。町外出身のため、業務を通して高鍋町を知ることができ、とても楽しく感じています。町民の皆さまに安心して制度を利用していただけよう頑張りますので、よろしくお願いたします。

趣味:ドライブ、旅行 好きな言葉:笑顔

~先輩からの一言~  
柔らかい雰囲気笑顔が素敵な頑張り屋さんです。4月から障がい者福祉関係の業務を一生懸命こなしています。業務量も多く大変だと思いますが、体を壊さないように気をつけながら一緒に頑張っていきたいと思います。(河邊技師)

**高木 茜 たかき あかね**  
総務課 人事係

人事係は町民の皆さまと接する機会はありません。どちらかというと職員の方や関係機関の方と接する業務が多いです。今後、さまざまな行事に参加することがあると思いますが、そういった機会に積極的に町民の方と関わっていければと思っています。

趣味:ジグソーパズル 好きな言葉:千里の道も一歩から

~先輩からの一言~  
毎朝「おはようございまーす!」とさわやかにあいさつしてくれる、責任感の強いしっかりさんです。人事の仕事は町民の方と直接接することが少ないので、地域の活動などに積極的に参加し、地域に浸透した職員に成長してってください。(徳永係長)

**酒匂 剛 さこう つよし**  
産業振興課 農村整備係

農業用施設や開拓財産の管理などを担当しています。庁舎外での仕事が多く、町民の方々と接することが多いので、さまざまなことを経験しながら、少しでも町民の方々の要望に応えられるように頑張ります。よろしくお願いたします。

趣味:卓球・映画鑑賞・カラオケ 好きな言葉:ありがとう

~先輩からの一言~  
早々に職場にも慣れ、通常業務のほか、農村公園の草刈り等にも活躍しています。さまざまな要望・問題にも臨機応変に対応できるたくましい職員になってください。(永友係長)

**にぶ かずき 丹生 一樹**  
社会教育課 生涯学習係

私の仕事は、子ども会活動の推進やジュニア・リーダークラブ活動等の補佐を行っています。町内の幅広い年齢の方と接する機会が多いため、刺激があり充実しています。これから高鍋町のためにがんばっていききたいと思っています。

趣味:映画鑑賞、ドライブ 好きな言葉:日々是好日

~先輩からの一言~  
初めての職場で戸惑いながらも一生懸命頑張ってくれています。相手の立場になって物事を考え、町民の皆さんから親しまれる職員になって欲しいと思います。(三笠係長)

東日本大震災復興チャリティー公演

**千昌夫・新沼謙治**

8/12(日) 高鍋町中央公民館  
開演: 18:30 (1回公演) 料金: 6,000円 (税込)  
《前売券販売所》  
コープみやざき(高鍋店・佐土原店)・Aコープ新富店  
ローソン各店・チケットぴあ(セブンイレブン・サンクス各店)  
eプラス(ファミリーマート各店)  
《賛助出演》地元舞踊 《特別ゲスト》水木大介《協力》カルチャークラブ西日本  
■主催・お問い合わせ/ソワード(株) ☎099-223-8005

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

# わが町の宝物

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。今回は、5月・6月の健診に来た元気なちびっこたちです！

みんな  
元気に  
育つね。



かわはら けいすけ  
河原 圭佑 ちゃん



おしかわ か な  
押川 嘉那 ちゃん



おしかわ り さ  
押川 璃咲 ちゃん



あらた  
新 ゆい ちゃん



はしもと なおあき  
橋本 直昌 ちゃん



たかはし りょうじ  
高橋 諒次 ちゃん



うめやま りょうた  
梅山 凌汰 ちゃん



ほりぐち こうたろう  
堀口 幸太郎 ちゃん



くぼた こうすけ  
久保田 康介 ちゃん



いまいずみ ひまり  
今泉 妃葵 ちゃん



こんどう あおと  
近藤 碧斗 ちゃん



いのうえ みうか  
井上 美海花 ちゃん



くろぎ ひなの  
黒木 緋七乃 ちゃん



おおくぼ たかひろ  
大窪 崇広 ちゃん



つねさだ しょういちろう  
常定 丈一郎 ちゃん



いずみ りのか  
泉 莉乃翔 ちゃん



ささき かける  
佐々木 翔琉 ちゃん



やなぎた ゆきと  
柳田 倅大 ちゃん



いづつか ななと  
飯塚 虹斗 ちゃん



ひだか こうすけ  
日高 晃祐 ちゃん



とよだ りき  
豊田 力輝 ちゃん



はなくら ひろき  
花倉 弘樹 ちゃん



たに そういちろう  
谷 宗一郎 ちゃん



くろぎ るな  
黒木 琉那 ちゃん



まつした そうすけ  
松下 颯佑 ちゃん



にしはら けいと  
西原 慶人 ちゃん



こばやし さく  
小林 朔 ちゃん

## ♪ゆめいろのたねをまきましよう♪

すてきな家族に出会いました。お父さんは、優芽(ゆめ)ちゃんが誕生した時に思い浮かんだ言葉を詩にしました。お母さんはひと晩がんばって、その詩に優しいメロディをつけました。そして自分だけの歌を作ってくれました。

「ゆめいろのたね」という曲。『優芽ちゃんの「ゆめ」でもあるし、皆にあるそれぞれの「夢色」でもあるし、聞く人の解釈で聞いてもらえればという思い、そして小さな子どもでも歌えるようにと、あえてひらがなにしました』と川原真吾さん(町内蓑江)。真吾さんのリコーダー、妻・衣津美さんのピアノ伴奏に包まれて、元氣よく優芽ちゃんが歌います。

家族と一緒にいるときのポカポカした気持ち、変わらない日々のありがたさ、ちょっと涙が出てきそうなメロディです。「家族の歌コンテスト」で優勝し、夏休み期間中にファミリーマートで流れる予定です。



## 広報たかなべ 2012. 7. 20 NO. 377

編集・発行／宮崎県高鍋町  
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437  
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003  
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>  
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。

### 人口と世帯数(7月1日現在・前月比)

人口	21,654人	(+ 7)
男性	10,254人	(± 0)
女性	11,400人	(+ 7)
世帯数	8,784世帯	(+ 7)



TAKANABE TOWN